

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2019年度 第3回理事会議事録

日時：2020年1月18日（土）14時00分～16時30分

会場：医療法人聖恵会 福岡聖恵病院 会議室

(敬称略)

出席者：(理事) 金澤 剛 福本京子 小沼正昭 上野 歩 江口 幸一 佐藤 健二
(監事) 石原 温 松本 典丈

参会者：(オブザーバー)

米満 淑恵 宮本 信 松下 啓子 甲川 由見子 黒岩 盛一郎 宮脇 棟次郎
長谷川 英世 沖倉 紅児 阿部 由理 種山 諭子、新田 壽子、田中 豊司、
佐藤 義実、高楊 祐一

配布書類：理事会の議案書（事前配布資料）、同（当日配布資料）

○招集と定足数

金澤理事長より、1月10日、定款35条1項に基づき、2019年度第3回理事会を招集。又、14時00分現在、理事総数の過半数以上の理事6名が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告。その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言、議事に入った。

1

○審議事項

1. 第1号議案 正社員、賛助社員の入社承認の件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（当日配布資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく、以下の正社員（団体）、同（個人）の入社を承認、可決した、

◇正社員（団体） 社会福祉法人恵春会（理事長：小林 佳之）（熊本県熊本市）

◇正社員（個人） 青木 健二（社会福祉法人山紫会 理事長）（熊本県合志市）

2. 第2号議案 監理団体（アジア開発事業協同組合）との初期費用、管理費等見直しの件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく、提案要旨を賛成、可決した。

質疑では、参考となった、他社の監理団体の初期費用、管理費等との比較について質問があり、口頭で概略を回答した上で、後日、比較一覧表を作成し、配布することを確認した。

3. 第3号議案 オールアクセスマンマーとの日本語教育の人的能力や教育内容の向上を目的とした業務委託契約の取り止めの件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく、提案要旨を賛成、可決した。但し、質疑では、プロジェクトの発足が目的とした現地の課題は、なんら解決しておらず、粘り強く、目的が掲げた課題の克服のために、継続して働きかけていくことを、附帯して確認した。

4. 第4号議案 モデル事業としての介護留学の受入について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第4号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく、提案要旨を賛成、可決した。

質疑において、3月14日（金）の当事業団の関西ブロック会議に、「すみれ日本語学校」で実質的な運営を担っている、ラッ ミャッ チェさんがお見えになり、ご講演と今後の進め方について協議することが報告された。

○特別報告『ミャンマーにおけるディケアプロジェクトの設置について』と一般報告

次に、金澤理事長から、特別報告を行い、質疑を行った。

質疑では、同プロジェクトの設置に期待する意見が相次いだ。が、現地における必要性の理解やODA案件のように援助ありきにとどまる、当事者の不在が懸念されること、何とかミャンマー人が主体的に進め、我々はその協力者としてのスタンスの確保に励むことを確認した。一般報告では、オブザーバー参加者から、ミャンマー現地で起きている諸課題、安定的な介護人材確保の複線化の必要性、事業団の取り等について、理解を深める機会となった、との意見を頂いた。

最後に、次回の第4回理事会を、4月18日（土）14時から、パルシステム東京にて開催すること、当事業団の第5回定時総会を6月20日（土）に、パルシステム連合会（東京都新宿区）で開催することを確認した。

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16時30分に閉会を宣言して散会した。
以上、相違ありません。

2020年1月18日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛 理事 福本 京子 理事 小沼 正昭 理事 上野 歩

理事 江口 幸一 理事 佐藤 健二

監事 石原 温 監事 松本 典丈

以上